

# 『ふるさと創造計画』企画書

3年 2組 3番 (氏名) 大政 荘勤	
講座名 E	講座テーマ 伊予市の特産物・おいしい物

《テーマ》 伊予市の果物を生かして、今まで体験したことのない  
~~珍味、\*物~~を全国に広めよう!  
スイーツ

《ふるさと伊予市の現状の問題点》

- さまざまな種類の果物がある。
- 伊予市には果物を生かした多くの種類のスイーツがある。
- 人口が減少している。(特に若者)
- 伊予市のスイーツなどの特産物があまり広がっていない。

(収集した資料は2枚目に添付)

《企画の目的》

最近若い人(カップルや女性)にスイーツなどの洋菓子が人気がある。なので、伊予市でもスイーツを通して伊予市を盛り上げたい。

《主なポイント》

- ①
- ② 実際伊予市産の果物を味見をして、この果物はこの果物は
- ③ 味が合うとキ、この果物と〜(例 ケーキ) にしたらおいしくなるかと考える。
- ④ 現在ある伊予市の果物を生かしたものを食べてみたり、他県には
- ⑤ どのようなスイーツがあるのかをインターネットを通じて調べてみる。

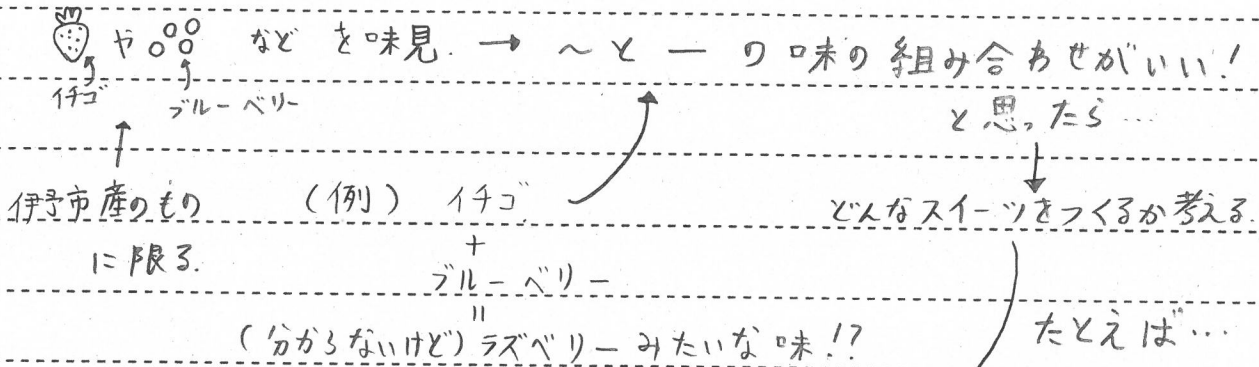
《収集した情報》

○

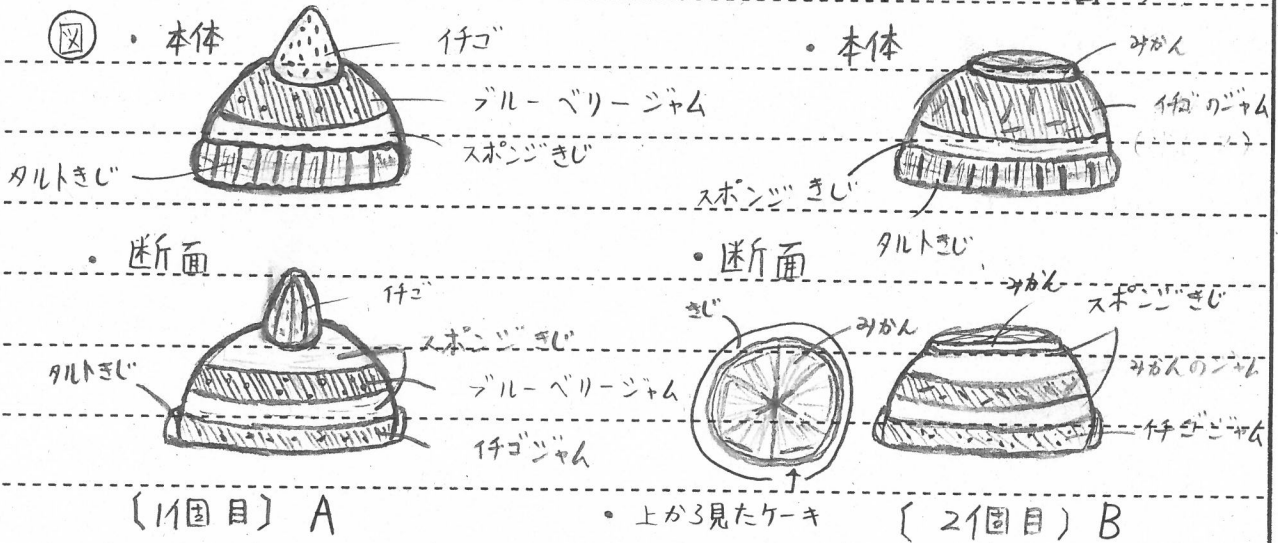
- ・ みかん 1個 20～45円 .
- ・ イチゴのパック 約500円
- ・ フルベリー - パック 約300円

《具体的な企画内容》

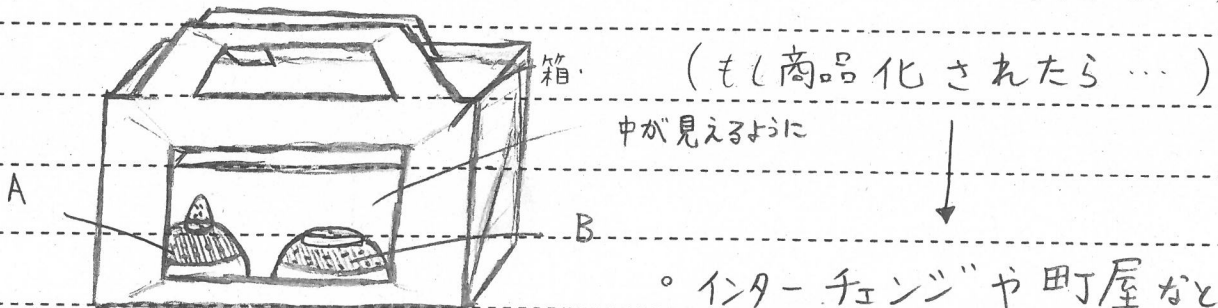
① 実際、に伊予市産の果物を味見をして、この果物とこの果物は味が合うことや、この果物を〜(例ケーキ)にしたらおいしくなるかと考える。(味の組み合わせを考える → それでどんなスイーツをつくるか考える)



(例) タルトケーキ (小さなおつくりのため) ← スイーツ



(完成した見た目(箱に入れたときの感じ)) ← 商品化した場合 (できたら...)



・値段は400くらい。の特産物がそろうところで  
 (ケーキ代 & 箱代) 販売してもらいたい。  
 (合わせて)

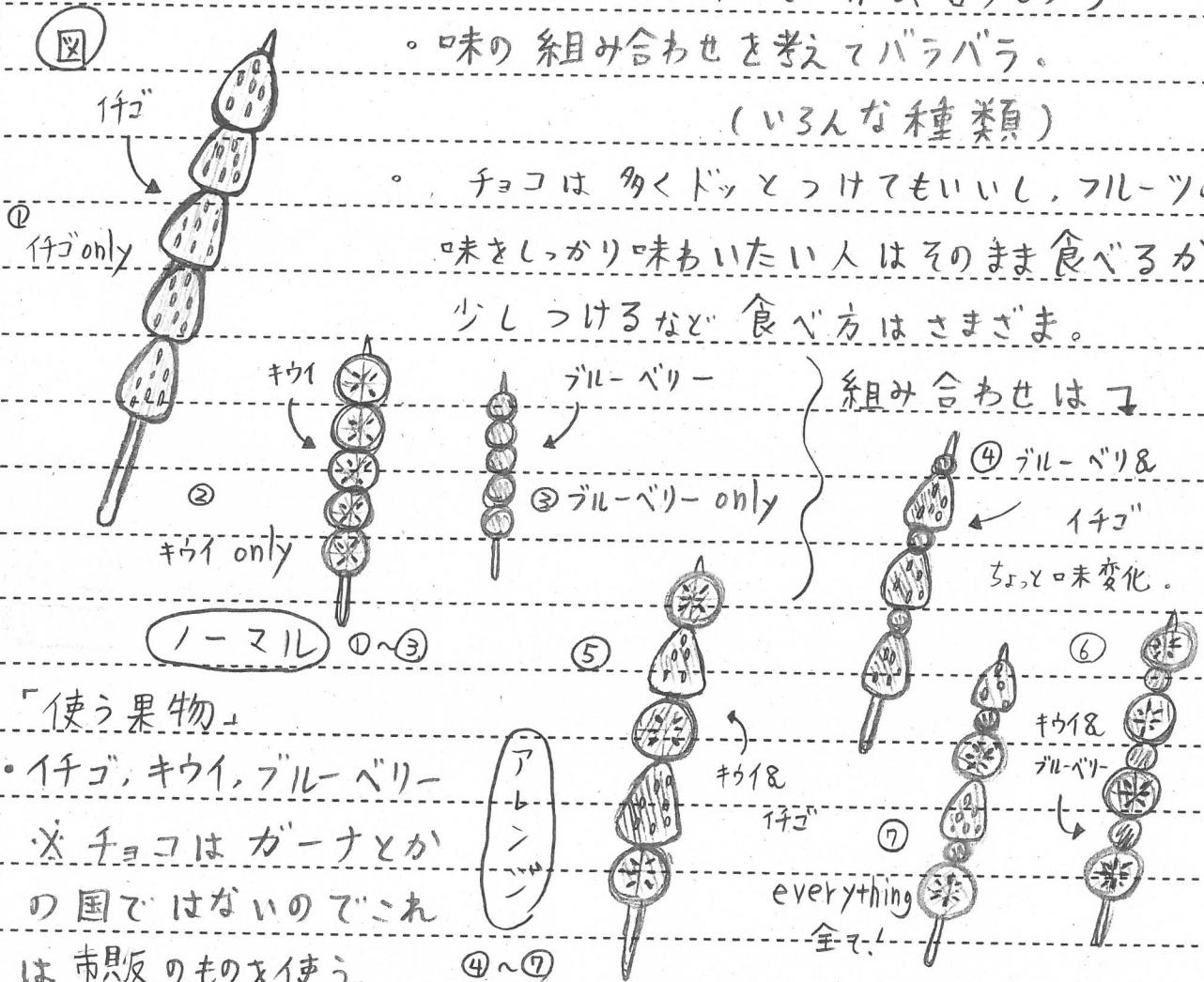
《具体的な企画内容》

2 (フォンデュ)

伊予市の果物をくし刺しにして、フォンデュのチーズのかわりにチョコレート(味はミルクかホワイトなど味が合うもの)

・味の組み合わせを考えてバラバラ。  
(いろんな種類)

・チョコは多くドゥとつけてもいいし、フルーツの味をしっかり味あいたい人はそのまま食べるが、少しつけるなど食べ方はさまざま。



「使う果物」

・イチゴ、キウイ、ブルーベリー  
※チョコはガーナとかの国ではないのでこれは市販のものを使う。

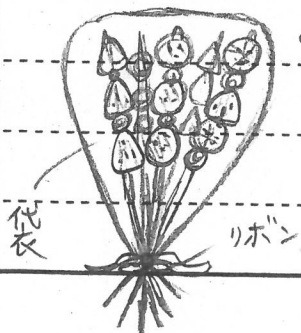
(もし商品化されたら...)



袋(入れ物)にはチョコにつけるくしざしフルーツ。フォンデュのチーズのかわりのチョコは別のものに入れておく。

(入れ物)

値段は350くらい



・祭りのイチゴあめみたいに入れておく。  
(7本入り)

And



・チョコはマックのナゲットのソースの入れ物のようなものに入れておく。  
(マックのよりは少し大きめ)

《実施にあたっての問題点》

- 。 つくるのにかかる費用，箱などをつくるお金など費用が異常にかかる。
- 。 商品化されたとしても売れなから赤字。  
(まず商品化されるかどうかですが...)
- 。 費用もですが，多くの人が必要となる。

《ふるさと創造計画 企画書を作成を通して考えたこと・思ったこと》

僕はこのふるさと創造計画の企画書を作成して思ったことは市役所の人などの市関係の人たち，てすごい力だということです。

もちろん人数は多いですが，市を活性化させるために多くのことに取りくんできていると思うと，とてもすごいことだと思います。今回の作成をしていて思ったのですが，地域を活性化，盛り上げる，てこんなにも大変なことなんだということです。

今回の学習を通して，今後は伊予市のことを今までよりも意識して生活したいと思います。